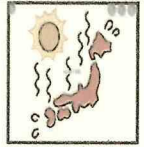


佐中だより



『人間を大事に ～自他ともに大切にすることができる～』

2021. 8. 23 (月)

No. 16

文責：宮川

大方・佐賀中合同人権講演会

【仲岡しゅんさんの写真】 7月27日(火)、大方中学校・佐賀中学校合同人権教育講演会をふるさと総合センターで実施しました。この講演会は昨年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催ができませんでした。しかし、今年度は両校の子どもたちのために、講演会を実施することができました。

子どもたちは、この講演会を聴きながら、人権問題に自分のこととして向き合い、差別の現実から深く学ぶことを通して、自分たちの生き方を考える場となりました。

今回の講演会では、「ジェンダー・セクシュアリティを巡る人権課題」について、講師の仲岡しゅんさんに自らの体験を踏まえて語っていただきました。そのため、子どもたちは講演に引き込まれ、人権について一人ひとりが考えることができました。

佐賀小中合同研修会

7月29日(火)佐賀小中学校合同の研修会を行いました。2校で合同研修会を行うのは、今年度2回目です。両校は隣接しており、昨年度より同じ学校教育目標「人間を大事に～自他ともに大切にすることができる～」をもとに、児童生徒に育みたい資質・能力は何か?どうすればそれを子どもたちに育てていけるかなどを両校で協議してきました。

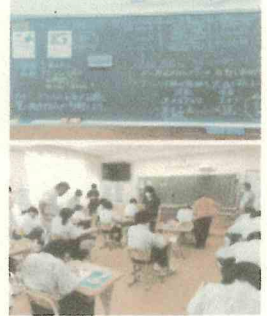
今後も両校の教育を通して、どのような資質・能力を身につけさせるのか確認しながら、進んでいきたいと思えます。2学期は、高知県指定事業において小中合同で公開授業を行う予定です。



佐賀中校区保小中合同研修会

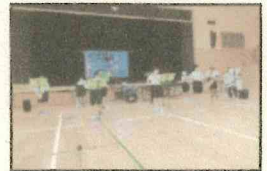
8月4日(水)佐賀中学校区 【1学期佐賀中公開授業】保育所・小・中学校約30名ほどが集まり、合同研修会を行いました。この連携会議では、1学期「佐賀保育所の公開保育」、「佐賀中学校の公開授業」を行いながら、本年度の研究テーマである「聴く力・話す力を育てる」をどうつていくかを協議してきました。

本研修会ではその取組の中で、「相手意識を持つ」ということが難しい園児や児童・生徒への対応について、講話をしていただきました。このことで、保小中で連携した教育を行うことの大切さを再認識させてもらいました。次回の保小中連携会議は、伊与喜小学校において公開授業の参観となっています。



高知県吹奏楽コンクール

8月2日(月)県民文化ホールにおいて、吹奏楽部が高知県吹奏楽部コンクールに出場してきました。今年度はコロナ禍ということもあり、どこの学校でも吹奏楽部は練習の成果を発表する場がほとんどありません。また、練習の制限も多くあり、苦労して全体練習などを行ってきました。その成果はミニコンサート等で発揮してきましたが、大きな会場では久しぶりの演奏でした。結果は惜しくも銅賞ということでしたが、帰りは晴れ晴れとした顔つきでした。



中学校学年別夏季卓球大会

7月30日(金)、31日(土)において、高知市で中学校学年別夏季卓球大会が実施されました。佐賀中学校からも、1～3年生の男女が出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。結果は3回戦進出が最高の成績だったようですが、5月に新入生が加入し、キャプテンを中心に技術力が増してきたように感じました。また、キャプテン会で伝えられていた「あいさつ」や、「荷物の整理整頓」などマナー面も向上してきたように思えます。今後もこのような毎日の練習を大事にしていってください。

【キャプテン会の様子】



黒潮町人権教育研究大会

8月1日(日)黒潮町人権教育研究大会が実施されました。この研究大会も新型コロナウイルス感染防止の点から、全体会が分科会場において、リモート研修となりました。

そのため、啓発講演会もリモートでの講話となりました。講師の方は高知出身の森光さんという方で、「新型コロナウイルス」によって生まれる差別や、社会の分断についてのお話をいただきました。特にこのコロナ禍において人と人がお互いに大切にしようことの大切さ、豊かな生き方を一緒にしていくためには何が必要かを教えてくれた講演会でした。皆さんもこのコロナ禍をどう生きていくべきか一人ひとりがゆっくり考えてみませんか。

